

# 多面張理論

01・著

<https://ameblo.jp/010101/>

## 【目次】

1. はじめに
  - ・多面張理論とは
  - ・多面張の仕組み
  
2. 順子の法則（暗刻がない手牌）
  - ・順子は待ちをスジで伸ばす
  - ・暗刻がない手牌
  - ・次章に進む前に
  
3. 暗刻の法則（暗刻が1つある手牌）
  - ・とみえず暗刻を抜け
  - ・暗刻は複合形を作る
  - ・ノーテンの場合
  - ・単騎の複合形
  - ・リャンメンの複合形
  - ・シャンポンの複合形
  - ・次章に進む前に
  
4. 暗刻の法則（暗刻が複数ある手牌）
  - ・とにかく暗刻を抜け
  - ・複数の暗刻と複合形を作る場合
  - ・複合形がさらに他の暗刻と複合形を作る場合
  - ・特殊な複合形
  - ・例外形に順子や暗刻がくっついた形
  
5. 最後に
  - ・あとがき
  - ・法則&要暗記手牌

※出典（<https://ameblo.jp/010101/entry-12409243772.html>）の明記を条件として、改変や営利目的の二次利用を含む自由な活用を許可します。



<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.en>

# 1. はじめに

## 【多面張理論とは】

従来の多面張の技術は、基本形の手牌を暗記したり、手牌をガチャガチャと動かしてみ待ちを見つけることが中心でした。

これに対して多面張理論は、法則化により暗記量を最小限に抑え、手順の構築によりスムーズに待ちを見つけることを可能としました。

また、13枚の手牌の待ちが確実に分かるようになれば『14枚の手牌から何を切ると何待ちか?』のしらみつぶしも可能となり、何切るにも対応ができるようになります。

(初心者の方へ) この理論は多面張の完全マスターを目的として書かれていますので、難しいと感じる場合は他のやり方(基本形の暗記など)を試されてもまったく問題ないと思います。

(初心者以外の方へ) この理論は一見煩雑そうに見えますが、あらゆる手牌に対して一連の手順で対応できる為に『複雑な手牌ほど威力を発揮』『暗記力や頭の回転力が最低限で済む』というメリットがあり、結果として多面張の完全マスターへの最大の近道となると思います。

## 【多面張の仕組み】

国士無双と七対子の場合を除くと、麻雀における待ちは『単騎』『リャンメン(ペンチャン・カンチャン)』『シャンポン』の3パターンいずれかに分類することができます。

※多面張理論では『リャンメン・ペンチャン・カンチャンの3つは性質が同じなので、一纏めにしてリャンメンと呼称する』と定義します。

そして、あらゆる多面張はこの3パターンの待ちに順子や暗刻がくっつくことにより作られ、そのくっつき方と新しくできる待ちには法則が存在します。

※多面張理論では『単騎・リャンメン・シャンポンの待ちに順子や暗刻がくっついて新しい待ちができた形』を多面張と定義します。

それでは、その法則について『順子の法則(暗刻がない手牌)』⇒『暗刻の法則(暗刻が1つある手牌)』⇒『暗刻の法則(暗刻が複数ある手牌)』という順番に解説していきます。

## 2. 順子の法則（暗刻がない手牌）

### 【順子は待ちをスジで伸ばす】

麻雀における待ちは単騎・リャンメン・シャンポンの3パターンでした。（国士無双と七対子の場合を除く）

これらの待ちに対して順子が特定の関係でくっつくと、『待ちをスジで伸ばす』という法則があります。

例えば5待ちの手牌があったとして、

$5 + 567 = 5567$ （5・8待ち）  
 $1134 + 567 = 1134567$ （2・5・8待ち）  
 $1146 + 567 = 1145667$ （5・8待ち）  
 $1155 + 567 = 1155567$ （1・5・8待ち）

あらゆる5待ちに対して、567の順子がくっつくと8のリャンメン待ちができます。（**順子の法則1**）

$5 + 567 = 5567$ （5・8待ち）  
 $5 + 678 = 5678$ （5・8待ち）

5待ちが単騎である場合、678の順子がくっつくと8の単騎待ちができます。（**順子の法則2**）

$1155 + 567 = 1155567$ （1・5・8待ち）  
 $1155 + 667788 = 1155667788$ （1・5・8待ち）

5待ちがシャンポンである場合、667788の順子（イーペーコー形）がくっつくと8のシャンポン待ちができます。（**順子の法則3**）

※もっと一般化した説明もできますが、こちらの方が覚えやすいかと思います。

### 【暗刻がない手牌】

暗刻がない手牌では『順子を端から分けていき、見つかった待ちがスジで伸びてないか確認する』ことにより、手牌全体の待ちを見つけることができます。（**順子の法則4**）

例えば『1 2 3 3 4 5 6 6 7 7 8 8 9』の手牌の場合、順子を左端から分けていくと、

1 2 3   3 4 5   6 6 7 7 8 8   9

9の単騎待ちが見つかり、それを6 7 8の順子が6まで単騎を伸ばし、さらに3 4 5の順子が3まで単騎を伸ばしている。

※見つけた待ちがスジで伸びてないか確認する際には、分けておいた順子をそのまま記憶しておく（または見つけた待ちを記憶しておいて再び端から順子を分けていく）とスムーズです。

また、右端から順子を分けていっても、

1 2 3   3   4 5 6   6 7 8   7 8 9

3の単騎待ちが見つかり、それを4 5 6の順子が6まで単騎を伸ばし、さらに7 8 9の順子が9まで単騎を伸ばしている。

このように右端から分けても左端から分けても結果は同じになります。

ただし、上記の『1 2 3 3』や『2 3 3 4、3 3 4 5』のように、単騎とリャンメン（ペンチャン・カンチャン）が重複するような形は、常に『単騎+順子』とみなしておかないと順子が伸ばす待ちを見落としてしまう場合があります。（**順子の法則5**）

それから、シャンポン待ちは2種類のスジができる可能性がありますので注意が必要です。

特に4～5連トイツ（シャンポン+イーペーコー）形のシャンポン待ちは2種類のスジで多面張を作ります。

2 2 4 4 5 5 6 6 7 7

↓

2 2   4 4   5 5 6 6 7 7

2・4シャンポン待ち、5 5 6 6 7 7の順子が7までシャンポンを伸ばす。

3 3 4 4 5 5 6 6 7 7（**要暗記手牌1**）

↓

3 3   4 4 5 5 6 6   7 7

3・7シャンポン待ち、4 4 5 5 6 6の順子が6までと4までシャンポンを伸ばす。

[練習問題]

1 1 2 3 4 4 5 5 6 6 7 7 8

3・6・9待ち

1 2 2 3 3 4 4 6 6 7 7 8 9

ノーテン

2 2 3 3 4 4 5 6 6 7 7 8 8  
1 2 3 4 4 5 5 6 6 7 7 8 8

2・5・8待ち  
4・7・5・8待ち

## 【次章に進む前に】

順子が待ちを伸ばしている形ではないので順子の法則ではありませんが、『2 2 3 3 4 5 5』という形について補足しておきます。

これは雀頭を2と5のどちらに取るかよってカンチャンかリャンメンが変わってくる形ですが、多面張理論では常にリャンメンとなるように雀頭を取っていただければ問題ありません。

また、この形に順子や暗刻がくっつくと待ちを見落としやすくなり、次章では『3 4 5 5 5 6 6 7 8 8』や『2 2 3 3 3 3 4 4 5 5』の形が登場しますので、詳しくはそちらを参照してください。

暗刻がない手牌に関しては以上ですが、『暗刻がない手牌がノーテンかテンパイか？テンパイしていたら単騎・リャンメン・シャンポンのどのパターンの待ちか？』は自力で把握できる必要があります。

これは多面張理論に最低限必要な手牌認知能力であり、それほど難しくはありませんのであらかじめ牌やアプリで練習して身に付けておいてください。

※従来の多面張の技術では『暗刻がある手牌（あらゆる手牌）の認知能力が求められる』ので複雑な形への対応が難しくなっていますが、多面張理論では『暗刻がない手牌（暗刻がある場合は暗刻を抜いた残りの手牌）の認知能力しか求められない』ので手牌の複雑さに関係なく対応が可能になります。

## 3. 暗刻の法則（暗刻が1つある手牌）

### 【とりあえず暗刻を抜け】

まずは以下の2つの手牌を見比べてみてください。

2 3 3 3 4 5 6 6 7 8 （2・1・4・7待ち）  
2 3 3 3 4 5 6 7 7 8 （6・9待ち）

どちらの手牌にも7枚の基本形として有名な『2 3 3 3 4 5 6』の形が含まれていますが、多面張となるのは前者だけで後者は多面張になりません。

この違いを見分ける場合、手牌をガチャガチャと動かしてみるよりもっと簡単な方法があります。

それは手牌から暗刻を抜き取り、残りの手牌がテンパイしているか確認することです。

3 3 3 2 4 5 6 6 7 8 （テンパイ）  
3 3 3 2 4 5 6 7 7 8 （ノーテン）

つまり、暗刻を抜いた残りの手牌がテンパイなら暗刻絡みの多面張を作り（正確には作る可能性があり）、ノーテンなら作りません。（**暗刻の法則 1**）

他の7枚の基本形の場合でも同様ですが、暗刻絡みの多面張は暗刻を抜いた残りの手牌が必ずテンパイしているはずです。

### 【暗刻は複合形を作る】

次は暗刻を抜いた残りの手牌に着目します。

暗刻を抜いた残りの手牌は、ノーテン・単騎・リャンメン・シャンポンの4パターンになります。

暗刻を抜いた残りの手牌がノーテンの場合、その暗刻部分は手牌構成上において暗刻として使えません。（または手牌全体がノーテン）

暗刻を抜いた残りの手牌がテンパイの場合、その待ちと暗刻が特定の関係でくっつくと複合形を作るといふ法則があります。

この『複合形を作る』とは、暗刻部分を暗刻以外（雀頭や搭子・順子の一部）に分解することにより手牌構成を変化させ、それによって新しい待ちができるということです。（**暗刻の法則 2**）

では、それぞれのパターンについて詳しく解説していきます。

## 【ノーテンの場合】

暗刻を抜いた残りの手牌がノーテンの場合、その暗刻部分は手牌構成上において暗刻として使えない、または手牌全体がノーテンとなります。（**暗刻の法則 3**）

暗刻を抜いた残りの手牌がノーテンの場合は、暗刻がない手牌と同じ要領で順子を端から分けていけば待ち（または手牌全体がノーテン）を見つけることができます。（**暗刻の法則 4**）

2 3 3 3 4 4 5 6 7 8

↓

3 3 3 2 4 4 5 6 7 8

暗刻を抜いた残りの手牌がノーテン。

↓

2 3 3 3 4 4 5 6 7 8

リャンメン 6・9 待ち、4 5 6 の順子が 3 までリャンメンを伸ばす。

2 2 3 4 4 4 5 6 8 8

↓

4 4 4 2 2 3 5 6 8 8

暗刻を抜いた残りの手牌がノーテン。

↓

2 2 3 4 4 4 5 6 8 8

カン 3 待ち。

2 3 3 3 4 5 5 6 7 9

↓

3 3 3 2 4 5 5 6 7 9

暗刻を抜いた残りの手牌がノーテン。

↓

2 3 3 3 4 5 5 6 7 9

手牌全体がノーテン。

3 4 5 5 5 6 6 7 8 8

↓

5 5 5 3 4 6 6 7 8 8

暗刻を抜いた残りの手牌がノーテン。

↓  
3 4 5 5 5 6 6 7 8 8  
リャンメン4・7待ち。

※暗刻部分が必ずしも雀頭になるとは限らない（5を雀頭にとるとカン7待ちになってしまう）ので注意してください。

[練習問題]

1 1 1 2 3 5 6 6 7 7 8 8 9	4・7待ち
1 2 2 3 3 3 4 4 5 6 7 8 9	3・6・9待ち
1 1 1 2 3 3 5 6 6 7 7 8 9	ノーテン
1 1 2 3 3 4 4 4 5 5 6 6 7	2・5・8待ち

## 【単騎の複合形】

暗刻を抜いた残りの手牌が単騎待ちの場合、単騎と暗刻の距離が1または2なら複合形を作ります。（**暗刻の法則5**）

※単騎と暗刻の距離が0または3以上（『3 3 3 3』や『3 3 3 6』など）なら複合形は作りません。

単騎の複合形でできる新しい待ちは、単騎のスジでも暗刻のスジでもないスジのリャンメン待ちになります。（**暗刻の法則6**）

ただし、暗刻のとなりに順子がくっつくと、単騎と暗刻の距離をつなぐ場合があります。（**暗刻の法則7**）

つまり、単騎の複合形は以下の3パターンとなります。

3 3 3 4（暗刻との距離が1）  
3 3 3 5（暗刻との距離が2）  
3 3 3 4 5 6 8（順子が単騎と暗刻の距離をつなぐ）

また、『単騎のスジでも暗刻のスジでもない～』というのは、『複合形を作る場合の単騎と暗刻と複合形のスジはそれぞれ異なるので、単騎と暗刻のスジが分かれば複合形のスジも自動的に分かる』ということです。

3 3 3 4（単騎は1のスジ、暗刻は3のスジ）  
↓  
3 3 3 4（複合形は2のスジ）



3 3 3 5 (単騎は2のスジ、暗刻は3のスジ)

↓

3 3 3 5 (複合形は1のスジ)

3 3 3 4 5 6 8 (単騎は2のスジ、暗刻は3のスジ)

↓

3 3 3 4 5 6 8 (複合形は1のスジ)

これだけなら非常に簡単なのですが、実際はこれに順子がくっつくことにより(単騎も複合形も)待ちがスジで伸びて少し複雑になります。

それでは単騎の複合形を作る手牌に順子を色々くっつけてみます。

待ちを見つける手順としては、『まず暗刻を抜いて待ちを見つけて(順子が待ちを伸ばしてないか確認)、次に暗刻との複合形の待ちを見つける(順子が待ちを伸ばしてないか確認)』となります。(暗刻の法則8)

※この手順は(単騎以外でも)あらゆる複合形における基本となります。

・単騎と暗刻の距離が1の形

3 3 3 4 4 5 6

↓

3 3 3 4 4 5 6

暗刻を抜くと4単騎待ち、4 5 6の順子が7までリャンメンを伸ばす。

↓

3 3 3 4 4 5 6

複合形はリャンメン2・5待ち。

3 3 3 4 5 6 7

↓

3 3 3 4 5 6 7

暗刻を抜くと4単騎待ち、順子が7まで単騎を伸ばす。

↓

3 3 3 4 5 6 7

複合形はリャンメン2・5待ち、5 6 7の順子が8までリャンメンを伸ばす。

2 3 3 3 4 5 6

↓

3 3 3 2 4 5 6

暗刻を抜くと2単騎待ち。

↓

3 3 2 3 4 5 6

複合形はリャンメン1・4待ち、4 5 6の順子が7までリャンメンを伸ばす。

・単騎と暗刻の距離が2の形

3 3 3 4 5 5 6

↓

3 3 3 4 5 6 5

暗刻を抜くと5単騎待ち。

↓

3 3 3 5 4 5 6

複合形はカンチャン4待ち、4 5 6の順子が7までリャンメンを伸ばす。

・順子が暗刻との距離をつなぐ形

3 3 3 4 5 6 6 7 8 8

↓

3 3 3 4 5 6 6 7 8 8

暗刻を抜くと8単騎待ち、6 7 8の順子が5までリャンメンを伸ばす。

↓

3 3 3 4 5 6 8 6 7 8

複合形は4 5 6の順子が暗刻との距離をつないでカン7待ち。

※『1 1 1 2 3 4 5 6 7 9』のように2つの順子が距離をつなぐ形もあります。

・4枚使いの形

2 3 3 3 3 4 4

↓

3 3 3 2 3 4 4

暗刻を抜くと4単騎待ち、2 3 4の順子が1までリャンメンを伸ばす。

↓

3 3 3 4 2 3 4

複合形はリャンメン2・5待ち。

※4枚使いの形でも待ちを見つける手順はまったく変わりません。

2 3 3 3 3 4 5

↓

3 3 3 2 3 4 5

暗刻を抜くと2単騎待ち、3 4 5の順子が5まで単騎を伸ばす。(または暗刻を抜くと5単騎待ち、2 3 4の順子が2まで単騎を伸ばす)

↓

3 3 2 3 3 4 5

複合形はリャンメン1・4待ち。(または複合形はカン4待ち、2 3 4の順子が1までリャンメンを伸ばす)

※4枚使いで1つの暗刻に対して2つの単騎が複合形を作れる場合、暗刻に近い方の単騎(距離が1の単騎)に着目した方が複合形の待ちを見つけるのが簡単になります。

#### [練習問題]

1 2 3 4 5 5 5 6 7 7 8 8 9

1・4・3・6・9待ち

1 1 1 2 3 4 5 6 7 7 8 9 9

9・6・8待ち

1 2 3 4 5 6 6 6 6 7 7 8 9

1・4・7・5・8待ち

2 2 2 2 3 4 5 6 7 7 8 8 9

2・5・8待ち(2は4枚使い)

## 【リャンメンの複合形】

暗刻を抜いた残りの手牌がリャンメン待ちの場合、その待ちと暗刻が重複すると複合形を作ります。(暗刻の法則9)

リャンメンの複合形によって作られる新しい待ちは雀頭部分で、暗刻部分とのシャンポン待ちになります。(暗刻の法則10)

#### ・基本の形

3 3 3 4 5 8 8

↓

3 3 3 4 5 8 8

暗刻を抜くと3・6リャンメン待ち。

↓

3 3 3 4 5 8 8

複合形は3・8シャンポン待ち。

2 3 3 3 4 8 8

↓

3 3 3 2 4 8 8

暗刻を抜くとカン3待ち。

↓

3 3 2 3 4 8 8

複合形は3・8シャンポン待ち。

※ 1 2 3 3 3 8 8 の形も同様。

・複合形のシャンポン待ちにイーペーコー形がくっついた形

2 3 4 4 4 5 5 6 6 7 7 9 9

↓

4 4 4 2 3 5 5 6 6 7 7 9 9  
暗刻を抜くと1・4リャンメン待ち。

↓

2 3 4 4 4 5 5 6 6 7 7 9 9  
複合形は4・9シャンポン待ち、5 5 6 6 7 7の順子が7までシャンポンを伸ばす。

2 2 3 3 3 3 4 4 5 5 (要暗記手牌2)

↓

3 3 3 2 2 3 4 4 5 5  
暗刻を抜くと3・6リャンメン待ち(3は4枚使い)。

↓

2 2 3 3 3 3 4 4 5 5  
複合形は2・3シャンポン待ち、3 3 4 4 5 5の順子が5までシャンポンを伸ばす。

・法則にあてはまらない例外形

2 2 3 3 3 4 4 5 6 6 (要暗記手牌3)

↓

3 3 3 2 2 4 4 5 6 6  
暗刻を抜くとカン5待ち。

↓

2 3 2 3 3 4 4 5 6 6  
例外の複合形で1・4リャンメン待ち。

それから、暗刻を抜いた残りの手牌で『単騎とリャンメンで重複する形(3 4 5 5、3 4 5 5 6 7 8、3 4 5 5 6 6 7 7 8 8など)』について補足しておきます。

『単騎とリャンメンが重複する形』は、リャンメンの複合形を作っても基本的に新しい待ちはできません。(暗刻の法則 1 1)

2 2 2 3 4 5 5

↓

2 2 2 3 4 5 5

暗刻を抜くと5単騎待ち、3 4 5の順子が2までリャンメンを伸ばす。

↓  
2 2 2 3 4 5 5  
複合形は2・5シャンポン待ち。

2 2 2 3 4 5 5 6 7 8  
↓  
2 2 2 3 4 5 5 6 7 8  
暗刻を抜くと5・8単騎待ち、3 4 5の順子が2までリャンメンを伸ばす。

↓  
2 2 2 3 4 5 5 6 7 8  
複合形は2・5シャンポン待ち。

2 2 2 3 4 5 5 6 6 7 7 8 8  
↓  
2 2 2 3 4 5 5 6 6 7 7 8 8  
暗刻を抜くと5・8単騎待ち、3 4 5の順子が2までリャンメンを伸ばす。

↓  
2 2 2 3 4 5 5 6 6 7 7 8 8  
複合形は2・5シャンポン待ち、6 6 7 7 8 8の順子が8までシャンポンを伸ばす。

ただし、以下の形だけはリャンメンの複合形で新しい待ちができてしまいます。

2 2 3 4 5 5 5 6 6 7 7 8 8 (要暗記手牌4)  
↓  
5 5 5 2 2 3 4 6 6 7 7 8 8  
暗刻を抜くと2単騎待ち、2 3 4の順子が5までリャンメンを伸ばす。  
↓  
2 2 3 4 5 5 5 6 6 7 7 8 8  
複合形は2・5シャンポン待ち、6 6 7 7 8 8の順子が8までシャンポンを伸ばす。

[練習問題]

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1 1 2 2 2 4 5 5 6 6 7 7 8 | 3・6・9待ち              |
| 1 1 2 2 2 2 3 3 4 4 5 6 7 | 2・5・8・1・4待ち (2は4枚使い) |
| 2 3 4 4 4 5 5 6 6 7 7 8 8 | 1・4・5・8・7待ち          |
| 1 1 2 3 3 4 4 4 5 5 6 7 8 | 2・3・6・9待ち            |

## 【シャンポンの複合形】

暗刻を抜いた残りの手牌がシャンポン待ちの場合、シャンポンの2つの対子と暗刻がくっくと複合形を作ります。(暗刻の法則 1 2)

シャンポンの複合形によって作られる新しい待ちは、暗刻部分が単騎待ちになります。（暗刻の法則13）

・基本の形

3 3 4 4 5 5 5

↓

5 5 5 3 3 4 4

暗刻を抜くと3・4シャンポン待ち。

↓

3 3 4 4 5 5 5

複合形は5単騎待ち、3 4 5の順子が2までリャンメンを伸ばす。

3 3 4 4 4 5 5

↓

4 4 4 3 3 5 5

暗刻を抜くと3・5シャンポン待ち。

↓

3 3 4 4 5 5 4

複合形は4単騎待ち。

・シャンポン待ちにイーペーコー形がくつつく形

2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 6 7 7

↓

6 6 6 2 2 3 3 4 4 5 5 7 7

暗刻を抜くと5・7シャンポン待ち、2 2 3 3 4 4の順子が2までシャンポンを伸ばす。

↓

2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7 6

複合形は6単騎待ち。

2 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7

↓

2 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7

暗刻を抜くと3・4シャンポン待ち、5 5 6 6 7 7の順子がくつつくと3 3 4 4 5 5 6 6 7 7の形になって6・7までシャンポンを伸ばす。

↓

2 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7

3・4シャンポン待ちとの複合形は2単騎待ち、2 3 4の順子が5まで、5 6 7の順子が8までリャンメンを伸ばす。

・順子がシャンポンと暗刻の距離をつなぐ形（この場合の複合形はリャンメン待ちになるので法則にはあてはまらない例外形です）

3 3 3 4 5 6 7 7 8 8（要暗記手牌5）

↓  
3 3 3 4 5 6 7 7 8 8  
暗刻を抜くと7・8シャンポン待ち。

↓  
3 3 3 4 5 6 7 7 8 8  
4 5 6の順子が7・8シャンポン待ちと3の暗刻の距離をつないで、例外の複合形で6・9リャンメン待ち。

※『1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 8 9 9』のように2つの順子が距離をつなぐ形もあります。

・法則にあてはまらない例外形

3 3 4 4 4 4 5 5 6 6 7 8 8（要暗記手牌6）

↓  
4 4 4 3 3 4 5 5 6 6 7 8 8  
暗刻を抜くと3・8シャンポン待ち。

↓  
4 4 3 3 4 4 5 5 6 6 7 8 8  
例外の複合形でカン7待ち。

[練習問題]

1 2 3 4 4 5 5 6 6 6 6 7 8	4・5・6・3・9待ち（6は4枚使い）
2 2 3 3 3 4 4 5 6 7 7 8 9	2・4・3待ち
2 2 3 3 4 4 5 5 5 6 6 7 7	6・7・5・2・8待ち
1 1 1 2 3 4 5 6 7 8 8 9 9	8・9・7待ち

## 【次章に進む前に】

暗刻が1つある手牌については以上で、これが暗刻の法則の基本となります。

要暗記手牌はそのまま暗記でかまいませんので、それ以外については（手牌を暗記するのではなく）法則と手順を暗記するようにしてください。

次章では『複合形がさらに他の暗刻と複合形を作る場合』がありますので、複合形による待ちのパターン変化もしっかり覚えておきましょう。

単騎と暗刻の複合形 ⇒ リャンメン  
リャンメンと暗刻の複合形 ⇒ シャンポン  
シャンポンと暗刻の複合形 ⇒ 単騎

このように待ちのパターンが『単騎⇒リャンメン⇒シャンポン⇒単騎...』とループしていきます。

また、要暗記手牌の中には例外形と解説されているものがありますが、これらは『法則にあてはまらない形の複合形』を作ったり、『法則にあてはまらない待ちのパターン変化』をするもので、次章でもいくつか登場しますが全て要暗記手牌となっています。（多面張理論全体で例外形は8つ）

2 2 3 3 3 4 4 5 6 6（待ちと暗刻が重複してない、リャンメン⇒リャンメン）  
3 3 3 4 5 6 7 7 8 8（順子がシャンポンと暗刻の距離をつなぐ、シャンポン⇒リャンメン）  
3 3 4 4 4 4 5 5 6 6 7 8 8（シャンポンと暗刻がくっついてない、シャンポン⇒リャンメン）

それから、『自分で4枚使っている待ち』についても少し補足しておきます。

一般的には『自分で4枚使っている部分を待ちとして答えるのは誤り』とされていますが、多面張理論では（『〇は4枚使い』という注釈付きで）その部分も待ちとして扱っています。

これは『その部分に順子や暗刻がくっついて新しい待ちができる場合もあり、待ちとして認識している必要がある』『その部分を待ちとして認識していることによる不利益（フリテンなど）はない』という理由からです。



## 4. 暗刻の法則（暗刻が複数ある手牌）

### 【とにかく暗刻を抜け】

暗刻が複数ある手牌でも、暗刻を抜いて残りの手牌を確認するのは同じですが、抜いた残りの手牌がテンパイになる暗刻とノーテンになる暗刻が混在する場合があります。

まず全ての暗刻を抜いて残りの手牌を確認して（テンパイなら待ちを見抜く手順に移行）、ノーテンなら個別に暗刻を抜いてテンパイとなる暗刻だけを抜くことができます。（**暗刻の法則14**）

また、抜いた残りの手牌がノーテンになる暗刻については、その暗刻部分は手牌構成上において暗刻として使えません。（または手牌全体がノーテン）

2 2 2 3 4 5 6 6 6 7

↓

2 2 2 6 6 6 3 4 5 7

全ての暗刻を抜いた残りの手牌がテンパイ。

2 3 3 4 4 4 5 6 6 6

↓

4 4 4 6 6 6 2 3 3 5

全ての暗刻を抜いた残りの手牌がノーテン。

↓

4 4 4 2 3 3 5 6 6 6

6 6 6 2 3 3 4 4 4 5

4の暗刻を抜くとノーテン、6の暗刻を抜くとテンパイ。

↓

6 6 6 2 3 3 4 4 5 4

4の暗刻部分は暗刻として使えない。

1 1 1 2 3 5 6 6 6 7 7 7 8

↓

1 1 1 6 6 6 7 7 7 2 3 5 8

全ての暗刻を抜いた残りの手牌がノーテン。

↓

1 1 1 2 3 5 6 6 6 7 7 7 8

6 6 6 1 1 1 2 3 5 7 7 7 8

7 7 7 1 1 1 2 3 5 6 6 6 8

個別に暗刻を抜いても全てノーテン。

↓

1 1 1 2 3 5 6 6 7 7 8 6 7

全ての暗刻部分を暗刻として使わなければ手牌全体ではテンパイ。

※『リャンメンの複合形が2つある形』は全ての暗刻を抜くとノーテンですが、個別に暗刻を抜くとどちらもテンパイ（どちらの暗刻も抜くことができる）になります。

1 1 1 2 3 7 8 9 9 9

↓

1 1 1 9 9 9 2 3 7 8

全ての暗刻を抜いた残りの手牌がノーテン。

↓

1 1 1 2 3 7 8 9 9 9

9 9 9 1 1 1 2 3 7 8

個別に暗刻を抜くとどちらもテンパイ。

1 2 3 3 3 4 5 6 7 8 8 8 9

↓

3 3 3 8 8 8 1 2 4 5 6 7 9

全ての暗刻を抜いた残りの手牌がノーテン。

↓

3 3 3 1 2 4 5 6 7 8 8 8 9

8 8 8 1 2 3 3 3 4 5 6 7 9

個別に暗刻を抜くとどちらもテンパイ。

## 【複数の暗刻と複合形を作る場合】

暗刻を抜いた残りのテンパイ形とそれぞれの暗刻が複合形を作るか確認していきます。（**暗刻の法則 1 5**）

2 2 2 3 4 5 6 6 6 7

↓

2 2 2 6 6 6 3 4 5 7

全ての暗刻を抜くと7単騎待ち。

↓

6 6 6 2 2 2 3 4 5 7

3 4 5の順子が距離をつないで2の暗刻との複合形でカン6待ち。

↓

2 2 2 3 4 5 6 6 6 7

6の暗刻との複合形で5・8リャンメン待ち、3 4 5の順子が2までリャンメンを伸ばす。

2 2 2 3 4 5 6 6 6 6 7 7 7

↓

2 2 2 6 6 6 7 7 7 3 4 5 6

全ての暗刻を抜くと3単騎待ち、4 5 6の順子が6まで単騎を伸ばす（6は4枚使い）。

↓

6 6 6 7 7 7 2 2 2 3 4 5 6

2の暗刻との複合形で1・4リャンメン待ち、4 5 6の順子が7までリャンメンを伸ばす。

↓

2 2 2 7 7 7 3 4 5 6 6 6 6

6の暗刻とは複合形を作らない。

↓

2 2 2 6 6 6 3 4 5 6 7 7 7

7の暗刻との複合形で5・8リャンメン待ち、3 4 5の順子が2までリャンメンを伸ばす。

2 3 3 4 4 4 5 6 6 6

↓

4 4 4 6 6 6 2 3 3 5

全ての暗刻を抜いた残りの手牌がノーテン。

↓

2 3 3 4 4 5 4 6 6 6

4の暗刻は抜くとノーテンなので6の暗刻だけ抜くと4単騎待ち、2 3 4の順子が1までリャンメンを伸ばす。

↓

2 3 3 4 4 5 4 6 6 6

6の暗刻との複合形でカン5待ち、3 4 5の順子が2までリャンメンを伸ばす。

### [練習問題]

2 2 2 3 4 5 6 7 7 7 7 8 9  
使い)

3・6・9・1・4・7・2・5・8待ち（7は4枚

1 1 1 2 3 3 4 5 6 7 8 8 8

3・2・5・8・4・1待ち

2 3 3 3 4 4 4 5 6 7 8 9 9

2・5待ち

1 1 1 2 3 4 4 4 7 8 9 9 9

1・4・6・9待ち

## 【複合形がさらに他の暗刻と複合形を作る場合】

暗刻との複合形でできた新しい待ちが、さらに他の暗刻と複合形を作る場合があり、その際には待ちのパターンが『単騎⇒リャンメン⇒シャンポン⇒単騎...』とループしていきます。（**暗刻の法則 1 6**）

・リャンメン⇒シャンポン⇒単騎のパターン

3 3 3 4 4 5 5 5 6 7

↓

3 3 3 5 5 5 4 4 6 7  
全ての暗刻を抜くとリャンメン5・8待ち。

↓  
3 3 3 4 4 5 5 5 6 7  
(3の暗刻とは複合形を作れず) 5の暗刻との複合形で4・5シャンポン待ち。

↓  
3 3 3 4 4 5 5 5 6 7  
4・5シャンポン待ちがさらに3の暗刻と複合形を作って3単騎待ち、3 4 5の順子が6までリャンメンを伸ばす。

2 3 4 4 4 5 5 5 6 6 6 7 8  
↓  
4 4 4 5 5 5 6 6 6 2 3 7 8  
全ての暗刻を抜いた残りの手牌がノーテン。

↓  
5 5 5 2 3 4 4 4 6 6 6 7 8  
5の暗刻は抜いてもテンパイで、4の暗刻と6の暗刻はどちらもリャンメンの複合形を作っていて、4の暗刻を抜くと1・4リャンメン待ち、6の暗刻を抜くと6・9リャンメン待ち。

↓  
5 5 5 2 3 4 4 4 6 6 6 7 8  
複合形は4・6シャンポン待ち。

↓  
2 3 4 4 4 5 5 5 6 6 6 7 8  
複合形の4・6シャンポン待ちがさらに5の暗刻と複合形を作る。

↓  
2 3 4 4 4 5 5 6 6 5 6 7 8  
複合形は5単騎待ち、2 3 4の順子が2まで6 7 8の順子が8まで単騎を伸ばす。

・シャンポン⇒単騎⇒リャンメンのパターン

1 1 1 2 2 3 3 3 4 4  
↓  
1 1 1 3 3 3 2 2 4 4  
全ての暗刻を抜くと2・4シャンポン待ち。

↓  
1 1 1 2 2 3 3 4 4 3  
(1の暗刻とは複合形を作れず) 3の暗刻との複合形で3単騎待ち。

↓  
1 1 1 3 2 2 3 3 4 4  
3単騎待ちがさらに1の暗刻と複合形を作ってカン2待ち、2 3 4の順子が5までリャンメンを伸ばす。

1 1 2 2 3 3 3 4 5 6 8 8 8

↓

3 3 3 8 8 8 1 1 2 2 4 5 6

全ての暗刻を抜くと1・2シャンポン待ち。

↓

8 8 8 1 1 2 2 3 3 3 4 5 6

(8の暗刻とは複合形を作れず) 3の暗刻との複合形で3単騎待ち、4 5 6の順子が6まで単騎を伸ばす。

↓

1 1 2 2 3 3 3 4 5 6 8 8 8

6単騎待ちがさらに8の暗刻と複合形を作ってカン7待ち。

・単騎⇒リャンメン⇒シャンポンの(シャンポンにイーペーコー形がくつつく)パターン

2 3 3 3 4 4 4 5 5 6 6 7 7 (要暗記手牌7)

↓

3 3 3 4 4 4 2 5 5 6 6 7 7

全ての暗刻を抜くと2単騎待ち。

↓

4 4 4 2 3 3 3 5 5 6 6 7 7

3の暗刻との複合形で1・4リャンメン待ち。

↓

3 3 3 2 4 4 4 5 5 6 6 7 7

4の暗刻との複合形でカン3待ち。

↓

2 3 4 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7

1・4リャンメン待ちがさらに4の暗刻と(またはカン3待ちがさらに3の暗刻と)複合形を作ってシャンポン3・4待ち、5 5 6 6 7 7の順子がくつつくと3 3 4 4 5 5 6 6 7 7の形になって6・7までシャンポンを伸ばす。

2 2 2 3 4 4 4 5 5 6 6 7 7 (要暗記手牌8)

↓

2 2 2 4 4 4 3 5 5 6 6 7 7

全ての暗刻を抜くと3単騎待ち。

↓

4 4 4 2 2 2 3 5 5 6 6 7 7

2の暗刻との複合形で1・4リャンメン待ち。

↓

2 2 2 3 4 4 4 5 5 6 6 7 7

4の暗刻との複合形で2・5リャンメン待ち、5 6 7の順子が8までリャンメンを伸ばす。

↓

2 2 2 3 4 4 4 5 5 6 6 7 7

1・4リャンメン待ちがさらに4の暗刻と（または2・5リャンメン待ちがさらに2の暗刻と）複合形を作って2・4シャンポン待ち、5 5 6 6 7 7の順子が7までシャンポンを伸ばす。

・暗刻が連続するパターン

2 3 3 3 4 4 4 5 5 5 (要暗記手牌 9)

↓  
3 3 3 4 4 4 5 5 5 2  
全ての暗刻を抜くと2単騎待ち。

↓  
4 4 4 5 5 5 2 3 3 3  
(5の暗刻とは複合形を作れず) 3の暗刻との複合形で1・4リャンメン待ち。

↓  
3 3 3 5 5 5 2 4 4 4  
4の暗刻との複合形でカン3待ち。

↓  
5 5 5 2 3 4 3 3 4 4  
1・4リャンメン待ちがさらに4の暗刻と（またはカン3待ちがさらに3の暗刻と）複合形を作って3・4シャンポン待ち。

↓  
2 3 4 3 3 4 4 5 5 5  
3・4シャンポン待ちがさらに5の暗刻と複合形を作って5単騎、2 3 4の順子が2まで単騎を（または3 4 5の順子が2までリャンメンを）伸ばす。

2 2 3 3 4 4 4 5 5 5 (要暗記手牌 10)

↓  
4 4 4 5 5 5 2 2 3 3  
全ての暗刻を抜くと2・3シャンポン待ち。

↓  
5 5 5 2 2 3 3 4 4 4  
(5の暗刻とは複合形を作れず) 4の暗刻との複合形で4単騎、2 3 4の順子が1までリャンメンを伸ばす。

↓  
2 2 3 3 4 4 4 5 5 5  
4単騎がさらに5の暗刻と複合形を作って3・6リャンメン待ち。

2 2 2 2 3 3 3 4 4 4 (要暗記手牌 11)

↓  
2 2 2 3 3 3 4 4 4 2  
全ての暗刻を抜くと2単騎待ち（2は4枚使い）。

↓

2 2 2 4 4 4 2 3 3 3  
3の暗刻との複合形で1・4リャンメン待ち。

↓  
2 2 2 3 3 3 2 4 4 4  
4の暗刻との複合形でカン3待ち。

↓  
2 2 2 2 3 4 3 3 4 4  
1・4リャンメン待ちがさらに4の暗刻と（またはカン3待ちがさらに3の暗刻と）複合形を作って3・4シャンポン待ち。

↓  
2 2 2 3 3 4 4 2 3 4  
3・4シャンポン待ちがさらに2の暗刻と複合形を作って2単騎、2 3 4の順子が5までリャンメンを伸ばす。

※要暗記手牌7・8・9・1 1に関しては、複合形が作られる仕組みが理解できたら以下のよう途中の手順を省略していきなり『順子+シャンポン』に分解してもかまいません。

2 3 3 3 4 4 4 (2・1・4・3待ち) ⇒ 2 3 4 3 3 4 4  
2 2 2 3 4 4 4 (3・1・4・2・5待ち) ⇒ 2 3 4 2 2 4 4

2 3 3 3 4 4 4 5 5 5 ⇒ 2 3 3 3 4 4 4 5 5 5 ⇒ 2 3 4 3 3 4 4 5 5 5  
2 2 2 2 3 3 3 4 4 4 ⇒ 2 2 2 2 3 3 3 4 4 4 ⇒ 2 3 4 2 2 2 3 3 4 4  
2 3 3 3 4 4 4 5 5 5 6 6 6 ⇒ 2 3 3 3 4 4 4 5 5 5 6 6 6  
⇒ 2 3 4 3 3 4 4 5 5 5 6 6 6 ⇒ 2 3 4 3 3 4 4 5 5 5 6 6 6

・法則にあてはまらない例外形

2 2 2 3 4 4 4 5 6 6 (要暗記手牌1 2)

↓  
2 2 2 4 4 4 3 5 6 6  
全ての暗刻を抜くとカン4待ち。

↓  
2 2 2 3 4 5 4 4 6 6  
複合形は4・6シャンポン待ち。

↓  
2 2 2 3 4 4 4 5 6 6  
さらに2の暗刻と例外の複合形を作ってカン5待ち。

※『2 2 2 3 4 5 6 7 7 7 8 9 9』のように順子が距離をつなぐ形もあります。

[練習問題]

2 3 3 3 3 4 4 4 5 5 5 6 7  
2 2 3 3 4 4 4 5 6 7 8 8 8  
2 3 3 3 4 4 4 5 5 5 7 7 7  
2 2 2 3 4 5 6 7 7 7 8 9 9

1・4・5・8・3・6待ち（3は4枚使い）  
2・3・4・1・7・6・9待ち  
2・1・4・3・5・6待ち  
7・9・8待ち

## 【特殊な複合形】

『暗刻2つと対子1つがかっついている形』は（これがワンセットで）特殊な複合形を作る場合があります。（**暗刻の法則 1 7**）

そして、暗刻と対子の部分を全て順子に分解すると、残った部分が例外の複合形になります。（**暗刻の法則 1 8**）

1 1 3 3 4 4 4 5 5 5（**要暗記手牌 1 3**）

↓

4 4 4 5 5 5 1 1 3 3  
全ての暗刻を抜くと1・3シャンポン待ち。

↓

1 1 3 3 4 4 5 5 4 5  
例外の複合形で3・6リャンメン待ち。

3 3 4 4 4 5 5 5 6 6（**要暗記手牌 1 4**）

↓

4 4 4 5 5 5 3 3 6 6  
全ての暗刻を抜くと3・6シャンポン待ち。

↓

3 4 5 6 3 4 4 5 5 6  
例外の複合形で3単騎待ち、4 5 6の順子が6まで単騎を伸ばす。

※この複合形によって待ち自体は増えませんが、3・6のシャンポン待ちが3・6の単騎待ちに変わること、以下のように順子が待ちを伸ばしたり暗刻との複合形を作ったりします。

3 3 4 4 4 5 5 5 6 6 7 8 9（3・6・9待ち）

3 3 4 4 4 5 5 5 6 6 8 8 8（3・6・7待ち）

2 2 3 3 3 4 4 4 5 7（**要暗記手牌 1 5**）

↓

3 3 3 4 4 4 2 2 5 7  
全ての暗刻を抜くとカン6待ち。

↓

2 2 3 3 4 4 3 4 5 7



例外の複合形で7単騎待ち。

2 2 3 3 3 4 4 4 5 6 6 7 7 (要暗記手牌 1 6)

↓

3 3 3 4 4 4 2 2 5 6 6 7 7

全ての暗刻を抜くと5・8リャンメン待ち。

↓

2 2 3 3 4 4 3 4 5 6 6 7 7

例外の複合形で6・7シャンポン待ち。

以下は(リャンメン⇒シャンポン⇒単騎のパターンで)特殊な複合形ではありませんが、形が似ているので一緒に解説します。

2 2 3 3 3 4 4 4 5 6

↓

3 3 3 4 4 4 2 2 5 6

全ての暗刻を抜くとリャンメン4・7待ち。

↓

3 3 3 2 2 4 4 4 5 6

(3の暗刻とは複合形を作れず)4の暗刻との複合形で2・4シャンポン待ち。

↓

2 2 3 3 4 4 3 4 5 6

2・4シャンポン待ちがさらに3の暗刻と複合形を作って3単騎、4 5 6の順子が6まで単騎を伸ばす。

2 2 3 3 3 4 4 4 4 5

↓

3 3 3 4 4 4 2 2 4 5

全ての暗刻を抜くと3・6リャンメン待ち。

↓

4 4 4 2 2 3 3 3 4 5

(4の暗刻とは複合形を作れず)3の暗刻との複合形で2・3シャンポン待ち。

↓

2 2 3 3 4 4 4 3 4 5

2・3シャンポン待ちがさらに4の暗刻と複合形を作って4単騎(4は4枚使い)、2 3 4の順子が1まで待ちを伸ばす。

[練習問題]

2 2 3 3 3 4 4 4 5 5 5 6 6

2・6・5・3待ち

2 2 3 3 3 4 4 4 5 5 6 7 7

6・4・7・1待ち

2 2 3 3 3 4 4 4 5 6 7 7 7

4・7・2・3・6・5・8待ち

1 2 2 2 3 3 3 3 4 4 4 4 5

1・3・6・2・4（3と4は4枚使い）

## 【例外形に順子や暗刻がくっついた形】

例外形に順子や暗刻がくっつくと（例外の複合形に気付きにくくなり）難解になる場合があります。

- ・ 2 2 3 3 3 4 4 5 6 6（要暗記手牌3）に1の暗刻がくっついた形

1 1 1 2 2 3 3 3 4 4 5 6 6

↓

1 1 1 3 3 3 2 2 4 4 5 6 6

全ての暗刻を抜くとカン5待ち。

↓

1 1 1 2 3 2 3 3 4 4 5 6 6

（1の暗刻とは複合形を作れず）3の暗刻と例外の複合形で1・4リャンメン待ち。

↓

1 1 1 2 3 2 3 3 4 4 5 6 6

1・4リャンメン待ちがさらに1の暗刻と複合形を作って1・6シャンポン待ち。

- ・ 2 2 3 3 3 4 4 5 6 6（要暗記手牌3）に5 6 7の順子がくっついた形

2 2 3 3 3 4 4 5 5 6 6 6 7

↓

3 3 3 6 6 6 2 2 4 4 5 5 7

全ての暗刻を抜くとノーテン。

↓

3 3 3 2 2 4 4 5 5 6 6 6 7

6の暗刻は抜くとノーテンなので3の暗刻だけ抜くと5・8リャンメン待ち。

↓

2 2 3 3 4 3 4 5 5 6 7 6 6

3の暗刻と例外の複合形で1・4リャンメン待ち。

- ・ 2 2 2 3 4 5 6 6 7 7（要暗記手牌5）に5 6 7の順子がくっついた形

2 2 2 3 4 5 5 6 6 6 7 7 7

↓

2 2 2 6 6 6 7 7 7 3 4 5 5

全ての暗刻を抜くと5単騎待ち、3 4 5の順子が2までリャンメンを伸ばす。

↓

2 2 2 7 7 7 3 4 5 5 6 6 6  
6暗刻との複合形で4・7リャンメン待ち。

↓

2 2 2 3 4 5 6 6 7 7 5 6 7  
4・7リャンメン待ちがさらに7の暗刻と複合形を作って6・7シャンポン待ち。

↓

2 2 2 3 4 5 6 6 7 7 5 6 7  
3 4 5の順子が6・7シャンポン待ちと2の暗刻の距離をつないで、例外の複合形で5・8リャンメン待ち。

・ 2 2 2 3 4 4 4 5 6 6 (要暗記手牌1 2) に3 4 5の順子がくっついた形、または3 3 4 4 4 4 5 6 6 (要暗記手牌2) に2の暗刻がくっついた形

2 2 2 3 3 4 4 4 4 5 5 6 6

↓

2 2 2 4 4 4 3 3 4 5 5 6 6  
全ての暗刻を抜くと4・7リャンメン待ち(4は4枚使い)。

↓

2 2 2 3 3 4 4 4 4 5 5 6 6  
(2の暗刻とは複合形を作れず) 4の暗刻との複合形で3・4シャンポン待ち、4 4 5 5 6 6の順子が6までシャンポンを伸ばす。

↓

2 2 2 3 3 4 4 4 4 5 5 6 6  
3・4のシャンポン待ちがさらに2の暗刻と複合形を作って2単騎待ち、2 3 4の順子が5までリャンメンを伸ばす。

#### [練習問題]

2 2 3 3 3 4 4 5 5 5 5 6 6

5・2・1・4待ち(5は4枚使い)

2 2 2 3 4 5 6 6 6 7 7 7 8

8・7・6・9・5待ち

2 2 2 3 4 4 4 5 5 5 5 6 6

4・6・5・2待ち(5は4枚使い)

2 2 2 3 3 3 3 4 4 4 5 6 6

4・6・5・1待ち(2 2 2 3 4 4 4 5 6 6と2 2 2

3 3 3 4 4 6 6の2つの例外形)

## 5. 最後に

### 【あしがき】

『順子の法則（暗刻がない手牌）』⇒『暗刻の法則（暗刻が1つある手牌）』⇒『暗刻の法則（暗刻が複数ある手牌）』と解説してきましたので、これであらゆる多面張について解説したことになります。

あとは牌やアプリを使った練習との併用（練習で間違えた手牌を画像で保存しておき、それを理論にあてはめ直すのが有効）で正確性とスピードを高めていただければと思います。（正確性とスピードでは正確性の方が重要）

また、多面張の何切る（暗刻のある手牌からテンパイに取る打牌）に関しては、以下の3パターンになりますので上から順にテンパイ形のチェックをしていくとスムーズです。（例外形の見落としに注意）

- ・暗刻を抜いた残りの手牌でどういうテンパイを（暗刻との複合形も）取れるのか？
- ・暗刻から1枚切ってテンパイを取れるのか？
- ・暗刻を抜いた残りの手牌がノーテンとなるテンパイを取れるのか？

### 【法則&要暗記手牌】

#### 2. 順子の法則

【順子は待ちをスジで伸ばす】

- ・あらゆる5待ちに対して、567の順子がくっつくと8のリャンメン待ちができる。（**順子の法則1**）
- ・5待ちが単騎である場合、678の順子がくっつくと8の単騎待ちができる。（**順子の法則2**）
- ・5待ちがシャンポンである場合、667788の順子（イーペーコー形）がくっつくと8のシャンポン待ちができる。（**順子の法則3**）

【暗刻がない手牌】

- ・暗刻がない手牌では『順子を端から分けていき、見つかった待ちがスジで伸びてないか確認する』ことにより、手牌全体の待ちを見つけることができる。（**順子の法則4**）

・『1 2 3 3、2 3 3 4、3 3 4 5』のように、単騎とリャンメン（ペンチャン・カンチャン）が重複するような形は、常に『単騎+順子』とみなしておかないと順子が伸ばす待ちを見落としてしまう場合がある。（**順子の法則 5**）

3 3 4 4 5 5 6 6 7 7（**要暗記手牌 1**）

### 3. 暗刻の法則（暗刻が1つある手牌）

【とりあえず暗刻を抜け】

・暗刻を抜いた残りの手牌がテンパイなら暗刻絡みの多面張を作る可能性があり、ノーテンなら作らない。（**暗刻の法則 1**）

【暗刻は複合形を作る】

・『複合形を作る』とは、暗刻部分を暗刻以外（雀頭や搭子・順子の一部）に分解することにより手牌構成を変化させ、それによって新しい待ちができるということ。（**暗刻の法則 2**）

【ノーテンの場合】

・暗刻を抜いた残りの手牌がノーテンの場合、その暗刻部分は手牌構成上において暗刻としては使えない、または手牌全体がノーテンとなる。（**暗刻の法則 3**）

・暗刻を抜いた残りの手牌がノーテンの場合は、暗刻がない手牌と同じ要領で順子を端から分けていけば待ち（または手牌全体がノーテン）を見つけることができる。（**暗刻の法則 4**）

【単騎の複合形】

・暗刻を抜いた残りの手牌が単騎待ちの場合、単騎と暗刻の距離が1または2なら複合形を作る。（**暗刻の法則 5**）

・単騎の複合形でできる新しい待ちは、単騎のスジでも暗刻のスジでもないスジのリャンメン待ちになる。（**暗刻の法則 6**）

・暗刻のとなりに順子がくっつくと、単騎と暗刻の距離をつなぐ場合がある。（**暗刻の法則 7**）

・あらゆる複合形において待ちを見つける手順としては、『まず暗刻を抜いて待ちを見つけて（順子が待ちを伸ばしてないか確認）、次に暗刻との複合形の待ちを見つける（順子が待ちを伸ばしてないか確認）』となる。（**暗刻の法則 8**）

【リャンメンの複合形】

・暗刻を抜いた残りの手牌がリャンメン待ちの場合、その待ちと暗刻が重複すると複合形を作る。（**暗刻の法則 9**）

・リャンメンの複合形によって作られる新しい待ちは雀頭部分で、暗刻部分とのシャンポン待ちになる。（**暗刻の法則 10**）

・『単騎とリャンメンが重複する形』は、リャンメンの複合形を作っても基本的に（1つの形を除いて）新しい待ちはできない。（**暗刻の法則 11**）

2 2 3 3 3 3 4 4 5 5 （**要暗記手牌 2**）

2 2 3 3 3 4 4 5 6 6 （**要暗記手牌 3**）※例外形

2 2 3 4 5 5 6 6 7 7 8 8 （**要暗記手牌 4**）

【シャンポンの複合形】

・暗刻を抜いた残りの手牌がシャンポン待ちの場合、シャンポンの2つの対子と暗刻がくっくと複合形を作る。（**暗刻の法則 12**）

・シャンポンの複合形によって作られる新しい待ちは、暗刻部分が単騎待ちになる。（**暗刻の法則 13**）

3 3 3 4 5 6 7 7 8 8 （**要暗記手牌 5**）※例外形

3 3 4 4 4 4 5 5 6 6 7 8 8 （**要暗記手牌 6**）※例外形

#### 4. 暗刻の法則（暗刻が複数の手牌）

【とにかく暗刻を抜け】

・まず全ての暗刻を抜いて残りの手牌を確認して（テンパイなら待ちを見抜く手順に移行）、ノーテンなら個別に暗刻を抜いてテンパイとなる暗刻だけを抜くことができる。（**暗刻の法則 14**）

【複数の暗刻と複合形を作る場合】

・暗刻を抜いた残りのテンパイ形とそれぞれの暗刻が複合形を作るか確認していく。（**暗刻の法則 15**）

【複合形がさらに他の暗刻と複合形を作る場合】

・暗刻との複合形でできた新しい待ちが、さらに他の暗刻と複合形を作る場合があり、その際には待ちのパターンが『単騎⇒リャンメン⇒シャンポン⇒単騎...』とループしていく。（**暗刻の法則 1 6**）

2 3 3 3 4 4 4 5 5 6 6 7 7 （**要暗記手牌 7**）

2 2 2 3 4 4 4 5 5 6 6 7 7 （**要暗記手牌 8**）

2 3 3 3 4 4 4 5 5 5 （**要暗記手牌 9**）

2 2 3 3 4 4 4 5 5 5 （**要暗記手牌 1 0**）

2 2 2 2 3 3 3 4 4 4 （**要暗記手牌 1 1**）

2 2 2 3 4 4 4 5 6 6 （**要暗記手牌 1 2**）※例外形

【特殊な複合形】

・『暗刻 2 つと対子 1 つがくっついている形』は（これがワンセットで）特殊な複合形を作る場合がある。（**暗刻の法則 1 7**）

・暗刻と対子の部分を全て順子に分解すると、残った部分が例外の複合形になる。（**暗刻の法則 1 8**）

1 1 3 3 4 4 4 5 5 5 （**要暗記手牌 1 3**）※例外形

3 3 4 4 4 5 5 5 6 6 （**要暗記手牌 1 4**）※例外形

2 2 3 3 3 4 4 4 5 7 （**要暗記手牌 1 5**）※例外形

2 2 3 3 3 4 4 4 5 6 6 7 7 （**要暗記手牌 1 6**）※例外形